

新任薬剤師研修会を終えて

東京医療センター 薬剤科 三浦 拓人

出身大学：明治薬科大学（平成25年）

興味のある分野：精神疾患領域

本年度4月より、東京医療センターに採用になりました、三浦拓人と申します。

平成25年にNHO、NCに採用された新任薬剤師の人数が多いということは知っていたのですが、今回の新任薬剤師研修会の参加者は過去最高の83名でした。これだけ同期がいるということは、ライバルが多いということなので負けていられないとの思いで臨んだ研修会でした。その中で、学んだことや考えが変わったことがありました。

研修はまず先生方から、病院薬剤師としての自覚、チーム医療、医療安全、3、4年目薬剤師からの提言というテーマでご講演がありました。先生方が考えていらっしゃる病院薬剤師像や今後の課題というお話があり、特に病棟薬剤業務に関してはこれからさらに進めていかななくてはいけない業務だと感じました。また、チーム医療として何をしているのか、チームを目指すにはどうすればよいのかなどのお話があり、3、4年目の先生方からは、先生方が1年目の時にどのようなことをされていたのか、現在どのような資格を取得し、どのようなお仕事をされているのかなど、具体的なお話が拝聴できたこともとても勉強になりました。

続いて小児科領域のテーマでグループディスカッションを行いました。小児に対する喘息の吸入薬の指導方法について、実際の吸入器のデモ器を用いて行ったディスカッションでしたが、病態や薬、吸入器具についての知識が乏しい、小児に対してどのように接すればよいか曖昧、といった状況からのディスカッションはとても難航しまし

た。しかし、話し合いを進めていく中で、自分ひとりでは気付かないことや知らないことも、グループの皆で意見を出し合えば補い合えるということに気がきました。このディスカッションから、小児喘息の病態や治療に関する知識だけではなく、症例に対する着目点やアプローチの仕方などの多様な考えを学ぶことができました。話し合いの時間は私にとって短く、十分な議論を行えなかったにも関わらず、ある程度まとまった発表ができたのは、同じグループのメンバーのおかげです。私はこの研修で出会った同期はライバル、という意識がありました。そしてこのディスカッションを通して考え方が少し変わりました。それは、この83人が協力しあってお互いを高め合っていくことができれば、とても大きな力になるのではないかと考えるようになったことです。それもまた、チーム医療や医療連携のひとつではないでしょうか。それに気付くことができたことも、この研修での大きな収穫です。私は今年度に採用された事を誇りに思います。研修会後の懇親会でもさらにお互いの仲を深めることができ、この1日は私のこれからの薬剤師生活においてとても大きな1日になりました。これからもこの同期との横のつながりを大切にしていき、仲間と共に自分を高めていきたいと思えます。

最後に、第17回新任薬剤師研修会を企画・運営して下さいました関信地区国立病院薬剤師会教育研修部の皆様へ感謝を申し上げますとともに、ご講演頂いた先生方へお礼申し上げます。